



UNHCR
The UN Refugee Agency

2007年3月19日

**ミャンマー難民の子どもたちに日本からの心の架け橋を— ガールスカウトの
高校・大学生がタイに向けて出発**

東京(19日)発— ガールスカウト日本連盟派遣団の5人が17日、タイに暮らすミャンマー難民の子どもたちに文房具などを詰めた「ピースパック」を届けるため、成田を出発した。

「ピースパック」は、ガールスカウト日本連盟が UNHCR と協力して全国的に行っている事業。団員らが集めたノートや色鉛筆、消しゴムなどを手作りのきんちゃく袋に入れ、少女たちが平和への思いや心をこめて1994年から10年、アフガニスタン難民に、2006年からはミャンマー難民に届けている。

今回タイのミャンマー難民キャンプを訪問するのは高校生と大学生を含む計5人。派遣団員は16日、UNHCR 駐日事務所を表敬訪問し、最年少の菅原未希子さんが「ただ支援するだけではなく、いかに心を伝えるかメッセージを届けたい」などと挨拶。UNHCR 駐日代表の滝澤三郎が「日本の皆さんの心を伝えると同時に、現地で学んで、日本で広めてください」と、団員の現地訪問を歓迎した。

5人の団員は現地時間19日にタイ北西部にあるメラキャンプを訪れ、すでに船でタイ・バンコクに発送されている「ピースパック」25,050袋と靴17,380足を子どもたちに直接手渡す。24日、バンコク経由で帰国予定。

以上

本件に関するお問い合わせは、下記までご連絡ください。

UNHCR 駐日事務所
広報室

150-0001
東京都渋谷区神宮前
5-53-70
UNハウス6階

Tel (81 3) 3499 2310
Fax (81 3) 3499 2273
www.unhcr.or.jp



UNHCR
The UN Refugee Agency

PRESS RELEASE